



蘭越



議会だより
No.179
令和2年8月号

所管事務調査を実施しました

議会だよりは
こちらからも
Check!



会議録の一覧
はこちらから



8月号の主な内容

- 一般質問..... 2 P ~ 10 P
- 常任委員会所管事務調査..... 11 P ~ 13 P
- 議案審議・議会日誌..... 14 P

令和2年第2回定例会

6月の定例会では6人の議員が一般質問しました（内容を要約してお知らせします）。



一般質問



本年11月に任期満了となる
次期町長選挙への立馬について

熊谷 雅幸議員 今年の秋に町

長の4年の任期が満了となります。金町長の3年半にわたる町政を振り返りますと、財政規律を守りつつも、あらゆる方面に力を注ぎ、その成果も着実に見えつつあり、「輝きのまち」づくりは確実に進展していると考えます。

町民の期待も大きいものがあると思いますが、2期目への挑戦の決意をお聞かせ願いたい。

金町長 先人の方々が、多くの苦勞と努力の積み重ねによって築き上げてきた「蘭越町」を次代へ繋げていくことが重要な責任であると考えています。

町政を預かってから時いた種、施策を町民の皆様とともに育て、そして収穫、成果を迎えられることが私に課せられた責任であるというところも考えているところです。このようなことから、熟慮に熟慮を重ねた結果、次期町長選挙に再度立候補し、町民本位の明るく

活力ある蘭越町の建設に全身全霊をかけて努力してまいりたいと決意を新たにいたしましたところです。

今後、残された期間を全力で職務に取り組むとともに、町民の皆様が安全で安心して暮らしていただける町政の推進に努めてまいります。
熊谷議員 立候補表明を大変嬉しく思います。

「コロナ対策については、調査会社によると5月の売上が前年より減収した企業が87.4%となっているとのことでした。

経済建設常任委員会でも検証しましたが、本町では3月19日にいち早く対策を講じていただき、この対応に感動すら覚えました。

今後の公共施設の運用については、統合するのか、改修を行うのか、民間に売却し活用していただくのか、十分に検討して道筋をつけていただきたいと思います。

金町長 新型「コロナ」感染症対策については、国や道の支援のみならず、町の支援が重要であると考えています。

いまま必要なものや対策等を、議員の皆さんとも協議していただき、行っていく必要があるのではないかと考えています。

ただし、その中では健全財政は保っていかねければならないと考えているところです。

第6次の蘭越町総合計画の推進を図り、町民の皆様が蘭越町に住んで良かった、そして住み続けたい、住んでみたい、そう思えるようなまちづくりに職員共々、全身全霊をかけてまいりたいと考えています。

公共施設の運営については、町では公共施設管理計画を策定していますので、それに沿って進めていくことが必要ではないかと考えているところです。

2期目に向かって、私が行っている施策を皆さんの協力により何とか成果を上げたい、そのために頑張っている、そのような気持ちでありますので、御理解を願いたいと思います。



国の第2次臨時交付金の活用について

難波 修一議員

政府は、新型

コロナウイルス対策の第2次補正予算案を国会に提出し、地方自治体に対する交付金は、1次補正の2倍の2兆円が計上されています。

巨額の交

付額であり、住民生活への支援、地域経済を活性化させる新しい活動、

コロナウイ

ルスとの共存を図るために必要な対策などに有効活用することが必要と思いますが、現時点で使途等についての考えを伺います。

金町長

臨時交付金は、地方公

共団体が地域の実情に応じて感染の影響を受けている地域経済や住民生活の支援をきめ細やかに実施することで、地方創生を図ることとされており、有効な事業を画的に進めたいと考えています。



現時点での使途等については、

小中学校感染症対策環境整備事業として、扇風機購入や網戸の設置、中学校普通教室の拡幅、また、公共施設感染予防対策事業として、花一会図書館除菌ボックスの設置、オンライン会議用環境整備等を実施したいと考えています。

今後検討しているものでは、新しい生活様式を念頭に感染対策と生活環境の整備を進めていきたいと考えています。

難波議員

公共施設や医療・福祉、民間事業所の感染予防対策は

取り組まれておりますが、特に農業や観光、商工業について、回復を図るといっただけではなく、新たな展開に繋げるような新しい企画への支援に重きを置いて、取り組んでいただきたいと思います。

今後追加で交付金の配分があるとのことなので、関係者の意見を聞き、活性化のための事業

計画づくりに努めていただきたい。

金町長

先般、商工会会長から

「コロナ対策の感染に対する要望書をいただき、補正予算等に計上した経緯もあります。」

また、担当課にも、各関係団体の方と、コロナ対策で困っていることや意見等を情報共有するよう指示をしているところです。

コロナ対策は、長期化を見据えた対策が必要と考えており、各関係団体や町民からのご意見等を、新たな展開に繋げていけるよう取り組んでいきたいと考えています。

難波議員

第2次補正予算には、

都道府県が事業主体になって、医療や福祉関係の職場で働いている方々への給付金制度ができ、町内の医療機関や福祉事業所、施設は該当になるのか、非常に関心のあるところです。

まだ詳細が定まっていないとのことですが、現時点で分かる状況があればお聞かせいただきたい。

金町長

後志総合振興局や保健

所に確認しましたが、まだ詳細については整理している段階で、診療所も含めた町内医療機関、介護サービス事業者の従業員全てが対象になるかは、明確に答えられる

情報はない状況です。

今後分り次第、情報提供することにも、町の方でも早急に情報を集めたいと思っています。

難波議員

医療関係も感染予防

対策に対し色々希望があると思います。

建設中の統合診療所も4月からの開業に合わせて、更に付け加えるような感染予防対応があれば検討するなど、医師との協議や医療介護等の現場の声を吸い上げてほしいと思います。

全国の福祉施設の現場は、大変な状況が発生しています。それらに対して町で何か手立てができるかという難しいことですが、現場の声に耳を傾け、事業所運営の苦勞を受け止めて、全面的な支援をお願いしたいと思います。

金町長

新型コロナウイルス感

染症は、長期間かかるということであり、町民の命を守る医療機関というのは大事な場所ですので、先生方のお話を聞きながら、また、費用がかかる分については、議会と相談して対応してまいります。

再開した学校の学習指導について

難波議員 2月下旬から断続的に行われた学校の臨時休業も再開され、児童生徒や保護者の喜びは大きいと思います。

約3か月間に及んだ学習の遅れを、児童・生徒に与える心身の負荷に配慮しながら取り戻すことは大変だろうと思います。

今後の学習指導や学校行事などの取扱いについて、国・道の方針と教育委員会の考えを伺います。

首藤教育長 2月27日から春休みまでの臨時休業は、各学校とも小学校6年生、中学校3年生は、年度内に履修すべき授業は終了しており、他の学年についても未履修の時間は少なく、令和元年度分の未履修の授業については、4月15日までに前年度に予定していた全ての内容を終了しています。

4月20日から5月31日までの休業日数は26日間ですが、文部科学省からは、臨時休業に伴う学びの保障について、「学校の新しい生

活様式」を参考に、感染予防を徹底した上で学校を再開するよう通知が来ています。

本町においては、臨時休業中の学習の課題や指導を行うとともに、段階的に分散登校の回数を増やしてきたところで、臨時休業に伴い大幅に授業時数の不足が生じていますが、



各学校、各学年とも子どもたちの精神的な負担に配慮しながら、本年度内に不足している授業の回復ができるものと考えています。

難波議員 今後、新型コロナウイルス感染症の第2波、第3波が来るだろうと思いますし、これからのインフルエンザの到来等を考えると、学年末になって厳しいと

いう状況とならないように、余裕を持ったこれからの授業日の設定をしてほしいと思います。

首藤教育長 臨時休業に伴う授業の不足時数を解消するため、夏休みや冬休みの短縮、運動会や学芸会などの内容の簡素化、中体連、中文連の中止と後志教育研究会等も今年度は休止となったことから、これらの時間を授業に充てることができ、教育課程を見直すことにより、予備時数も何十時間か確保できますし、ある程度余裕を持った中での授業回復を図っていきたいと考えています。

難波議員 次に、オンライン授業についてですが、授業を実施するためには、先生方の指導技術の習得と着実に実践できる力が大事だろうと思います。

休業でタブレット端末を家庭に持ち帰って使う場合、子ども達が使えなければ授業にならず、低学年では難しさもあると思います。

また、保護者の理解を深めることも不可欠ですが、今後の進め方についてどのように考えているのか伺います。

首藤教育長 オンライン授業を実施するにあたり、研修会の参加

や専門的な知識を有する方の支援なども必要であり、先生たちと一緒に教育委員会の職員も、どのようにすればスムーズに使えるか準備を進めたいと考えています。

ご指摘のあった低学年については、どこまで対応できるか難しい部分もありますので、例えば高学年がオンライン授業をしている間は、低学年は密にならないように分散登校するなど、色々な工夫をしながら対応を考えていかなければならないと考えています。

難波議員 子ども達の心身の負担は非常に大きいと思いますが、学校や教職員の努力にエールを送ることを教育委員会でも努めて気を配ってほしいですし、物心両面での支援をお願いしたい。

首藤教育長 私たちも校長会等を通じて、先生たちの頑張りに感謝しながら、学校と連絡を取りながら対応をしていきたいと考えています。



新型コロナウイルス感染症対策に係る各種支援事業の対象外の解雇労働者等の救済について

永井 浩議員 本町における、新型コロナウイルス感染症対策事業は、町民への直接的対策事業や、商工関連に対する支援策など様々な事業が執行されています。

また、持続化給付金など、町は直接の窓口ではないにもかかわらず、相談対応もしているとのことと、大変感謝しています。

しかしながら、これらの対策事業の対象とはならない方々もあり、雇用保険未加入のため、雇用調整助成金の対象にならない場合もあると聞いていますし、事業主が休業期間の給与を支払うだけの経済力も無いのが実情です。

本町の活性化や経済の下支えにもなっている方々への対策を講じるべく、実態を至急調査すべきだと思いますし、国の第2次臨時交付金を財源として救済することができないものか伺います。

金町長 新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、国や北海道、本町

においても各種支援対策等を取り進めていますが、それらの制度などでは救いきれない困窮者がいることも想像に難くないところです。

生活困窮者の実態については、多種多様であることから、各課で相談対応できる体制づくりを指示し、困っている方に対するケアをしていきたいと考えています。

新型コロナウイルス感染症拡大への対応は、長期戦になることが懸念されており、現実になるうともしていま

す。そうした状況も踏まえ、今後予定されている地方創生臨時交付金の使途について、町民の生活に活かされるよう、充分協議検討を進めていきたいと考えています。



永井議員 町民の困窮度を調査

するのは難しいことだと思えますが、給料を11万円もらっていた方が企業が撤退し、失業保険で今は4万円になったとして、融資や公共料金の減額よりも、生活資金が全くない訳ですから、助成や給付することが大事だと思います。

例えば使用者が去年頼んでいたが、コロナの影響で帰国できない外国人が安い賃金で働き、頼めなくなつたという証明があれば、その部分がある程度一定額給付するなどの直接的支援が必要だと思います。

融資などの制度の紹介ではなくて、困っている方の相談に乗れる場を、各課でなく一か所ですべてやれないものなのでしょうか。

金町長 議員から直接支援ができないかとのことですが、どこまで本間に支援ができるのか難しい部分もあるのかなと思っています。

新型コロナウイルスの総合対策窓口は、答弁の中では各課にと言いましたが、大きな一つの窓口として、商工労働観光課長を当面の総合窓口として決定をしました。

各課においても、新型コロナウイルスの担当職員を配置し、様々な町民の相談を吸い上げながら、

支援等に努めていきたいと考えているところです。

本町に困っている方に対して、直接的な支援をお願いしたいとのことについても、役場に相談窓口を配置して、町民の方々に周知をしながら、予算が伴うものについては、議会とも相談して検討したいと考えています。

永井議員 直接的に言うのは、例えば1日時給1,000円で働き4,000円もらっていた場合、全額ではなく半額ぐらいは支援するとしても大変喜ばれると思えますし、逆に、役場が窓口になって、直接町民を支援するお見舞金みたいな形でも良いのかと考えますがどうでしょうか。

金町長 どういう形で支援するかについては、内部で検討が必要ですが、即答は勘弁願いたいと思います。役場では、新型コロナウイルス感染症により困っている方へ、このような体制により対応を取っているため、気楽に来てくださいとの周知を至急図りたいということ、それと併せて、支援が必要だと思った場合は、議会や関係機関も含めながら、検討していきたいと思っています。



昆布100年の森記念公園パークゴルフ場の維持管理について

金安 英照議員

北海道でも、緊急事態宣言が解除され、本町でも6月1日より町の各施設が順次開館、営業を始めておりますが、昆布100年の森記念公園パークゴルフ場を見てきたところ、町内外問わず多くの皆さんが利用されておりました。

当パークゴルフ場は、本年より新たな業者が維持管理することとなりましたが、それに至った経緯と、一年間どのような作業内容で管理されるのか伺います。

金町長 蘭越町では、当該パークゴルフ場のほかに吉国自然公園や大谷公園、せせらぎ公園など全部で15か所の芝生管理を民間業者に委託しています。

本年度より委託業者が変更となった経緯ですが、これまで公園等管理を受託していた業者から今年に入り作業員の確保が難しく体制が整わないなどの理由により、入札案内を頂いても参加できない

旨の申し出がありました。

この申し出を受け、数社の町内事業者へ管理委託を当たってみましたが、芝生管理は専門的知識や専用の機械を用意しなければならぬなど、

初期投資が多額になり受託は困難であるとの回答を踏まえ、町外の芝生管理を専門としている業者を選定し入札を執行したところで、作業内容は業務内訳書があり、何項目かの工種を設定し、施設ごとに回数を定め、それを基に作業を行ってもらうこととなっています。



今年度、委託業者が変わったことにより、これまでの作業内容と変更はありませんが、これまで業者が培ってきたノウハウがあるた

め、作業の進め方など異なることもあろうかと思いますが、利用者が快適にプレイできるよう維持管理を進めていきたい。

金安議員

芝の刈りこみについて、現場を見させていただいて驚いたのですが、1週間たつとグリーン場では4センチ、ラフでは6センチから7センチの伸びが確認されています。こうなりますと足を引っかけて転倒するなどの怪我の方まで心配になります。

また、芝の管理を考察しますと、水撒きの重要性にも繋がるかと感じます。当ゴルフ場の水道の元が団地と一緒にいるため、3時間ほどパークゴルフ場の水撒きを使用させていただいておりますが、その時間では全コースへ十分に行き届かないのが現状です。

町水道との切り離しなどのお考えはないでしょうか。

金町長

昆布100年の森パークゴルフ場は、多くの方に利用されているところで、業者が新しくなり慣れるまでは少し時間がかかるかもしれませんが、地域の方々と共に、管理の部分でよろしくお願いしたいと考えているところです。

水の管理については、本年度、タイマーをある程度設置すれば、集中的な水管理が行われるのではないかと思っています。

井戸についても内部で検討しましたが、業者の見積もりによると、掘削10mで約350万円、更には電気代や施設の維持管理が多額となるため、当面は町水道と国道の方から来る水を活用した中で散水できないかということも検討していますので、その辺の所ができるようになれば、維持管理をしている方々含めて協議をしていきたいと思っています。

金安議員

健康増進はさることながら、プレイすること自体、安心安全、命の尊さや喜びに繋がってきている現状です。

町内外問わず多くの皆さんが利用し、帰りは温泉に入っって有意義な1日を過ごして帰路に戻るわけですから、今後ともよろしくお願ひいたします。

金町長

限られた予算ですから、全て満足にはいかない分もありますが、当面、担当の方でも水の管理、業者の方との打ち合わせをしながら進めていきたいと考えています。



新型コロナウイルス 対策事業の公平性について

田村 陽子議員 先月の補正予

算での地方創生臨時交付金の事業
については、次々と取り組まれて
おり、町民にも喜ばれていると思
います。

しかしながら、その中で「地元
の高校生への対象となる事業が漏
れているのではないか」という町
民の方の声を聞いております。

弁当の提供は小中学生、図書
カードは幼児から中学生までが対
象で、ふるさとメール便について
も町外に住む高校生や専門学生、
大学生が対象となっており、地元
に住んでいる高校生は対象となっ
ておりません。

児童手当の支給対象にもなら
ず、さらに支出がかさむようにな
る高校生への対象事業を、この先
考えないことには、公平性が保て
ないと思いますが、追加されるお
考えはないものか伺います。

金町長 高校生への対象事業を
追加する考えはないものかとのこ

とですが、今後、休業要請や失業

等による経済的な不安、臨時休業
による学習の遅れなどが懸念され
ますので、関係者等からのお話し
を伺いながら、支援が必要な場合
は、検討したいと考えています。

また、再び感染が拡大し、マス
クや消毒用アルコール等、感染予
防資材が不足する事態になれば、
町内はもちろん、町外の学生や高
校生にも、迅速に対応したいと考
えています。

新型コロナウイルスへの対応は、
長期化の様相を呈しており、以前
の様な生活を取り戻すには相当の
時間を要すると考えていますので、
高校生や保護者からこんな支援を
してほしい、こんな物が必要など
の声がありましたら、是非お知らせ
いただければと思います。

田村議員 今のところ図書カー
ドを追加する予定はないとのこと
で提案したいのは、地方公共団体
が地域の住民に対して、普段行か

ない地元の宿泊施設への宿泊費の
一部を支援し、地域の食文化、体
験プログラムなどを、実際に泊
まった経験や地域の魅力を全国に
発信してもらうことに地方創生臨
時交付金を活用してはどうでしょ
うか。

高校生を、町の観光業に絡め
て、子ども達自身が宿泊し温泉閣
の良さや蘭越町の温泉の良さなり
を知って、若い世代なりの発信を
してもらつなど、まちづくりを考
えていくうえでそのような事業を
高校生たちにも担ってもらつとい
うことを提案したいと思います。

金町長 議員から提案いただい
たものは、地元の小中高も含めて、
青少年の方々が地元をよく知り、
そして発信することについて、素
晴らしいアイデアの一つかなと考
えているところです。

ただ、コロナ対策という部分の
中で、それがどこまで対応できる
かを内部で考えなければならぬ
とは思っています。

議員があつしゃつたような、こ
ういうアイデアもあるのではない
かというものが、町民の皆さんを
はじめ、そういう声がありましたら
ぜひ、担当の方にも声をかけて

いただきなながら、その中でできる
部分から進めていきたいと考えて
います。

田村議員 可能ならば図書カー
ドの追加というのは一つ検討して
いただきたいのと、高校生や若者
たちが町を知るといふことを含め
た新しい事業を考えていっていただ
きたいと思っています。

金町長 コロナの長期化により
学習面の支援、図書カードは一つ
の例ですが、必要になってくるの
ではないかと考えています。

どういう方法でやるのがいいの
か、これは教育委員会等含めて、
十分内部で検討していきたいなと
思っています。

議員から提案していただいたこ
とも、子ども達がこの町を知ると
いうことは大変いいことだし、そ
こから発信してくればありがたい
と思っていますので、何かそう
いうような声がありましたら、ぜ
ひ町の方にも教えていただいて、
やって良かったと喜ばれるような
支援を内部で検討しながら進めて
いきたいと思っています。



町道管理維持事業の委託業務について

委託業務について

柳谷 要議員 町道の維持管理業務が民間委託となつてから1年が経過しました。そこで次の諸点について伺います。

1 点目、総じて委託の効果をどう捉えているか。

2 点目、今後の課題について。

3 点目、日常の道路状況を把握するために、専任の「町道行程管理者」によって道路パトロールをしてはどうか。

金町長 1 点目、昨年度は業務を引き継ぐという意味もあり、職員を一人配置し年間の業務を実施しました。排雪業務等を含め、住民から大きな苦情はなかったと担当課より報告を受けており、全体としては、これまでと変わりなく遂行できたのではないかと考えているところです。

本年4月からは完全に民間委託となつたことから、業者が持つているノウハウを活かしながら道路維持管理の推進を期待している

ところで、委託の効果については、今後、検証していきたいと考えています。

2 点目、本町は町道や河川の管理延長等が多く、また、道路や道路付帯施設の老朽化や河川においても近年の異常気象による氾濫が懸念されているところです。

町民の安全な道路の利用や安心に生活できるように、維持管理が重要と認識していますが、費用の増大も予想されていきます。

更に現在委託業者へ貸与している重機車両についても、故障等により作業に支障をきたす

ことから、機械の更新を含め、町全体の道路等維持管理については計画性をもって進めていかなければ



ばならないと考えています。

3 点目、パトロールによる道路状況の把握から維持・補修までを一括して委託することが、効率的で良質な道路維持管理に繋がると考えていることから、道路パトロール業務についても委託費に計上し、当面は執り進めていきたいと考えています。

柳谷議員 例えば、標識等の表示がきちんとされているかどうか、路面や路肩、側溝が健康な状態であるかどうか、これらの維持管理が本場に大事だと思えますので、町長の所見を伺います。

金町長 今年度から完全に町道の維持管理を民間委託にしており、通常パトロール、災害パトロール、路面整理、舗装補修と17項目くらい定めた委託内容になっています。道路を維持することは大切な部分であり、建設課に主幹や道路維持係長も配置いたしましたので、委託で賄えない部分や町民からの声を担当課の方で押さえながら、進めていきたいと考えています。

柳谷議員 農免道路ですが、周辺の立木や草が伸びて道路上まで被さってきていたり、秋になると

落ち葉の堆積等、見通しや路面状況が危険な状態のものもあります。利用頻度や重要性に応じて、年次計画で、道路の維持管理作業をやっていたらだいたいと思います。

金町長 議員がおっしゃった維持管理については、パトロールの分も含め、失業対策事業等で整備していくことは可能ではないかと思っています。

それと併せて、大規模な工事とならない前に、未然に防ぐ方法として、過去に農免農道整備事業を実施した事業について、北海道でさらに整備をする制度ができましたので、そういう制度に乗って、できないかどうか担当の方にも指し示しているところです。

大規模な事業については、そのような形で行い、通常の維持管理については、全て一度にはできませんが、危険な箇所から実施していきたいと考えています。

国の「特別定額給付金」の

拡大支給について

柳谷議員 国はすべての国民に一律10万円の給付金を支給開始しましたが、基準日以降（4月28日）に出生した乳児や、現在、妊娠され母子手帳をお持ちの保護者への給付を町独自の施策として実施できないか伺います。

金町長 国の新型コロナウイルス感染症緊急経済対策により、4月27日を基準日として全国全ての方へ10万円を給付する、特別定額給付金制度が実施されています。本町でも、4月27日を基準日として、2,366世帯、4,638人に対し、5月11日から申請を受け付け、現在まで2,322世帯、98.1%の方が申請を行い、給付を行っている状況です。

どのような制度もそうですが、一定の基準を定めなければならぬことから、一日の違いで支給不支給の差が出るものです。

しかしながら、緊急事態宣言中には、妊婦の方は人一倍気を使わ

れ、お腹の子と一緒にコロナと闘っていたと推測されるところであり、感染予防等の長期化が見込まれることから、配慮していく必要があるものと考えています。

本町では、4月28日以降、現在まで出生した子が4名、また、出生予定の母子手帳をお持ちの方が13名います。

事業の実施にあたり、制度の趣旨を鑑み、対象期間や名称及び交付金の対象になり得るものも含め調整する必要がありますので、他の事業との優先度も含めて、内部で十分検討します。

柳谷議員 現在、妊娠されている母親からすると、新型コロナウイルス感染症の拡大は、2人分のリスクを背負っており、精神的な負担感というのは相当なものだろうと思います。

お腹の赤ちゃんが動いてほっとすると語っているお母さんもいま

したが、その気苦労に対して補償があるのであれば見舞いでもいいし、無事生まれてきた時に出産祝い金にする、そういう趣旨であってもいいと思います。

常に住民に対する気遣いを色々な施策の中で活かしていく、今回はそういう時期なのではないかと思っています。

金町長 朝日新聞の調べでは全国で約30市町村がお祝い金、見舞金等の形で支援をしているところの報道が出されているところです。

コロナ対策の中では行っていきたくない気持ちを持っておりますが、全ての方々に平等に全部できるかと言うと色々な制約もあり、できない部分もあります。

内部で十分検討しながら進めていきたいと考えています。

柳谷議員 実施すると明言いただけないのが残念ですが、官庁に対する問い合わせや、政策的な負担をどうするのかということも含めて、公平とバランスの感覚で判断されたのだろうと思います。

私は、政策的な指導力というのは地方が持っている時代だと思えます。だから臆することなくやっていたきたいし、町民は必ず支

持すると確信持っています。

金町長 今回の臨時交付金の活用により、町独自の施策が全て認められて、支援できるという体制が一番本当は望まれることではないかと思っています。

地方自治体という独立の組織があり、地域の事は地域でやっていく、そのための交付金の活用というのが望まれるのではないかと思います。ただし、今の臨時交付金は、地方の計画を国で審査をし、認められたものに対して使っていくという部分があります。

コロナ対策についてはいろんな部分でこれから、議員の皆さん含め協議をさせていただくことが多いと思います。

町民の方々は、この感染という部分の中で長く付き合っていく、そのための必要な支援というものを、町としてできる限り支援をしたいという気持ちでございますので、その中で色々な制度的なものを見ながら検討していきたいと思えます。

「コロナ対策」とそれ以後の町の財政運営について

柳谷議員 各種の「コロナ対策」によって、行事はほとんど中止・延期となりました。

予算執行が不可能であったり、その可能性のある予算については、機敏な対応で減額補正や流用するなどの効率的な執行が望まれます。

また、本町議会でも、国は「新型コロナウイルス」をはじめとする感染症対策など、増大する地方財政需要に対応し得るよう、地方一般財源総額確保を求める意見書を表明することとしてあります。

今後の町長の町財政運営の基本と国の地方への財政施策の姿勢について、どのような見解をお持ちか伺います。

金町長 イベント等の中止による歳出の減額に限らず、休業による温泉施設等観光施設の使用料等、歳入にも影響が出るものもあり、予算補正につきましても、ある程度全体的に把握できた時点で

補正し、余剰等があれば、コロナ対策の予算に使用するなど、効率的に執行させていただきたいと考えています。

今回のようなコロナ感染症等、前例のない状況においては、柔軟かつ迅速に、必要な所に効率的に財源を入れ、住民生活や経済活動の維持を図っていききたいと考えています。

国の地方への財政施策の姿勢ですが、社会経済情勢の急激な変化や今後における国の地方財政対策などの動向が不透明な状況にあつて、歳入の確かな予算を立てることとは極めて困難な状況にあります。

今後、新たに必要となる地方負担や地方が独自に実施する取り組みについても、地方公共団体の財政運営に支障が生じることのないよう地方交付税等の一般財源の確保を図るとともに、今後とも関係機関一丸となって、国等へ要望をしていきたいと考えています。

柳谷議員 上半期の行事はほとんど中止や延期となつていますから、全部精査し可能な限り減額補正をすることで、新たなコロナ予算を組み機敏に実施することが大事ではないかと思えます。

金町長 限られた財源を有効に使っていかねければならない、コロナ対策

についても緊急的に措置をしなければならぬ、また、今ある基金を崩して、早急にやらなければならない判断もしなければならぬと考えているところです。

そのような場合には、早急に議員の方々にも相談し、なるべく迅速にいろんな対応をしていきたいと考えています。

国の支援等も活用しながら、健全な財政というものを保つていく、そして国がするべきことは国の方に要請をしていきながら、町財政を保っていききたいと考えています。



議会からのお知らせ



議会を傍聴しませんか

傍聴を希望される方は、議会開催日に役場3階議会事務局にお越しください。

議会の定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。臨時会が必要な都度、開催されます。

開催日は町のホームページでお知らせします。

議会だより編集委員

- 委員長 向山 博
- 委員 永井 浩
- 委員 田村 陽子
- 委員 金安 英照

所管事務調査

総務文教常任委員会

◆調査日 令和2年5月22日

教育委員会と住民福祉課、健康推進課について調査をしました。

「教育委員会所管における新型コロナウイルスへの対応」

小中学校は、2月下旬から5月末日（予定）まで、4月初旬の2週間を除いて臨時休業してあります。長期間に及んでいるため、児童生徒と保護者の不安やストレスも多いと思われます。

この間、教育委員会では、北海道教育委員会の指示について校長会と16回もの会議を開催し、保護者・児童生徒への連絡調整などの対応を進めており、町民へのお知らせにも取り組んできました。

約3ヶ月に及んだ休業の影響は多大だと思われます。学校再開後は、学習の遅れを取り戻すための学校の取組に期待するとともに、町においても感染予防対策や学習支援策を最大限に進めていただきたい。

スクールバス運行や学校給食などの業務にも臨時休業の影響があるとと思われるので、業務従事者への十分な配慮をしていただきたい。
【住民福祉課所管における新型コロナウイルスへの対応】

保育所は、保育を必要とする家庭への配慮から、原則通常どおりに開所し、保護者の協力も得ながら、感染症対策マニキュアルに加え「3密」の回避や施設内消毒などを徹底して運営されておりました。



学童保育所については、小学3年生以下に受入を限定し、保育所と同様の対策を講じて運営されておりおりました。

COVID-19と共存する覚悟で、今後も引き続き各家庭と連携して予防対策に努められるようにお願いいたします。

「ごみ処理の現状と課題」

本年度から一般廃棄物処理業務を専門業者に委託しております。運営は順調ですが、処理費用や

運搬費用の高騰によって、今後、ごみ処理料金の値上げと、衛生ごみ（おむつ等）の分別収集を検討する必要性があるとの報告がありました。

住民生活に直接関わる課題ですので、町民の理解と協力を得て改善を進めることが大切と思われます。また、生ごみ堆肥の町民還元は大変好評ですので、復活できないものか関係者と協議・検討していただきたい。

「健康推進課所管における新型コロナウイルスへの対応」

デイサービスや訪問介護ヘルパー等の業務については、施設内の管理やサービス提供時の対応に十分な感染予防対策を講じた上で取り組まれておりました。

担当職員の努力に敬意を表するとともに、介護サービスを必要とする方々は多いので、今後も運営への協力を期待いたします。

介護サービス事業や各種保健活動の際に行う検温については、非接触型に改善するなどの感染予防対策にも配慮していただきたい。

「統合診療所開設に伴う運営等の準備状況」

統合診療所建設検討委員会の中

で関係医師と十分に協議を行い、診療時間やスタッフの確保、医療機器の調達など診療所の運営に関する計画の具体的な検討に取り組みまれておりました。

本町の医療体制充実に向けた画期的な取組となりますので、来年4月の開業に向けて、引き続き関係者と緊密に連携をとり、準備作業に取り組みまれることを期待いたします。



統合診療所に常駐する町派遣の事務長職については、可能な限り早期に発令し、医師はじめ医療スタッフとの連携を強化して円滑な開業に資することが望ましいと思われまます。

新たに招へいする医師の確保に引き続き努めるとともに、開業当初の3名の医師団への処遇については、十分な配慮をしていただきたい。

総務文教常任委員長 難波修二

総務文教常任委員会

◆調査日 令和2年8月20日

農林水産課と農業委員会について調査をしました。

【研修農場について】

研修農場において取り進めている産学官連携による高収入作物の薬用植物の研究栽培について調査しました。

蘭越町・京都大学・シミツクホールディングス㈱の3者により、高麗人参やセネガ及び京都大品種登録のシン「下阿達」の研究栽培に取り組んでおり、また、㈱夕張ツムラとの契約ではソウジユツヤ、トウキの試験栽培を行っているとの説明を受けました。



この試験栽培は今後、人口減少や高齢化などにより農業従事者が減少し、一戸当たりの経営規模の拡大が想定されますので、本町の

基幹産業の持続的発展のため、水稻の生産振興だけではなく、新たな高収益作物を導入することにより、農業基盤の強化と農業所得の向上が期待できますので、町の将来を見据えた有意義な取り組みと、高く評価できるものです。

今後に向けての課題として、共同研究者との密接な連携による町内の生産者が栽培可能な栽培技術の確立と生産者への栽培推進農福連携の推進による、障害のある方や高齢の方の雇用を通じた共生社会の実現、外国人観光客の多い「セコエリヤ」の特性を生かし「らんこし米」と「薬用植物」を組み合わせた薬膳の研究と、食と温泉を活かし健康を軸としたビジネスモデルの創出との説明を受け、午後からは現地調査を行いました。

現在、栽培、研究、圃場管理などは町職員にて行われており、担当職員の苦労が伺われますので、研修農場の運営自体を改善する必要がありますのではとの意見がありました。

今後、この研究成果を実用化するためには今から、適地・栽培技術の確立・担当職員等のスケジュール管理を早急に進める必要

があると考えます。また、農業系大学から学生をリクルートすることで、栽培研究専門の職員を養成することや、食・温泉・経済を含めた取り組みとして、観光協会などとの連携が今後に向けての課題との意見がありました。

【新規就農者支援事業と農業次世代人材投資事業について】

新規就農者支援事業は、町振興作物の新規または拡大等に取組むため、5年後の経営の安定を図ると認められた新規就農者などに、機械導入や施設設備、農地の取得等に係る経費に対し支援している事業であり、平成27年から令和2年まで新規就農者28名、親元就農者6名に対し3,539万8千円交付してあります。また、次世代を担う農業者を目指す者の経営を支援する農業次世代人材投資事業の内容や交付状況も併せて説明を受けました。

現在、交付を受けた事業者はいずれも就農し、振興作物を生産しているが、今後はその他の作物に乗り出し、さらに経営内容の向上を目指していただきたい。また、この事業は5年が限度なため、今後の安定的な農業経営を目指すた

めには、農業生産資材の購入や更新などのサポートを検討する必要があるとともに、関係団体等と連携して、農閑期である冬期間に研修会や講習会を開催して学習してもらう機会を設けるべき、という意見が出ております。

【農作物の生育状況について】

後志農業改良普及センターの生育状況の概要によると、8月1日現在、水稻・秋蒔き小麦・馬鈴薯・大豆・小豆・てんさい等に生育の遅速、病害虫の目立つた障害はなく今後の氣象状況に注意を払う必要があるが、概ね良好であるとのことでしたので、このまま推移することを望みます。



現地調査において、密苗と中苗の生育状況を確認しましたが、いずれも良好でした。

なお、密苗はマット枚数が減り、労力の軽減が図られるが、密苗専用の田植え機でなければ対応

できず、多額の設備投資が必要となることの説明を受けました。

今後、大規模な面積を経営するためには、密苗の普及拡大が重要と考えますので、機械の改良開発に期待します。

【育苗施設の運営状況について】

農業者の労働軽減等を目的に育苗施設では、すべてのマットをロックワールマット化し育苗、出荷するため前年度から準備し、播種作業中にもマット作りをしながら運営にあたったとの説明を受けました。

その後、密苗の育苗出荷と、無事予定数量を出荷できたことに敬意を表するものです。

今後予想される、一戸当たりの作付面積拡大による農業者の負担軽減のため、育苗施設の運営は重要と考えますので、創意工夫により苗の安定供給を宜しくお願い致します。

【町有林の概要及び令和2年度町有林整備事業について】

従前、総務課管財係が担当していた町有林の現在の管理状況と今後の事業計画等について調査をしました。

町内民有林の全体の面積、蓄積

量と町有林の現状及び本年年度の町有林整備事業について説明を受けました。

今後、主伐期齢を迎えた林分の計画的な更新を実施するなど、町有林の適正な維持・管理をお願いしたい。

現地調査は、本年度下刈り事業を実施した共栄地区を確認しましたが、計画通り実施しておりましてあります。ただ、現地に至る道路は私有地のため森林管理において通行の許可を得ていくとのことですが、今後の適正な維持管理のために、町道蘭越磯谷線からのアクセス道路を接続するなどの路網の整備を検討願いたい。

なお、殺鼠剤は部分散布では他の森林にネズミが逃げ込み、被害を拡大することが懸念されるので、広範囲にわたる殺鼠剤の散布することで森林全体を保護する必要性が高いと思われます。



【森林環境譲与税を原資とした令和2年度の事業について】

森林環境譲与税は森林の面積・森林整備従事者の数などをもとに算出して配分されます。

本町においては令和2年度の当初予算で2,714万4千円と大きな金額が計上されており、現在は国庫から交付されておりますが、今後は、国民一人当たり千円を住民税に上乗せして徴収されることとなります。

そのため、税を原資とした森林事業がCO2削減や土砂災害防止など、本来の目的に沿った施策に使われているのかを検証する必要があります。という意見が出されています。

国民が納得して納税できる仕組みや活動が重要であることから、特にCO2削減や水源かん養のための森林環境整備や雇用の推進など、森林の持つ多面的機能の維持・増進のための費用であることを啓発することが大切と考えます。

経済建設常任委員長 永井 浩

「陳情」「請願」をご存じですか？

町政への要望や意見を議会に提出することができます。

議員の紹介のあるものを請願、ないものを陳情と呼んでいます。

提出された陳情・請願は、議会運営委員会で協議し、付託された委員会で審査することに決定したものは慎重に審査され、本会議で最終的に採択か不採択になります。

採択されたものは、町長などにその結果を伝え実現を図ります。



審議結果

主な議案の一部の審議結果をお知らせします。

蘭越町監査委員の選任につき同意を求めることについて

任期満了となる蘭越町監査委員について、選任に同意したものです。

◆令和2年5月15日 第3回臨時会

令和2年度蘭越町一般会計補正予算(第3号)

新型コロナウイルス感染症対策として、蘭越らぶちゃんふるさとエール便事業18万5千円、図書カード配布事業235万円、休校時給食支援(弁当提供)事業44万3千円、ハンディ型A-サーマルカメラ8台外181万円、プレミアム商品券事業2,300万円、子育て世帯への臨時特別給付金事業556万5千円など、6,638万8千円の追加、特別定額給付金事業として、4億7,017万2千円の追加、補正予算総額で5億5,646万3千円を追加しました。

◆令和2年6月17日 第2回定例会

令和2年度蘭越町一般会計補正予算(第4号)
人事異動等に伴う人件費の増減額分の措置、公衆無線LAN環境整備工事1,122万円、(仮称)港地区津波避難タワー建設工事4,210万円、学習用タブレット購入1,807万1千円、店舗等飛沫感染防止措置助成事業補助金200万円、畑作構造転換事業補助金1,006万9千円など、1億2,439万8千円を追加しました。

議会日誌

蘭越町議会議員・議長の動き

5月15日

蘭越町議会運営委員会

蘭越町議会第3回臨時会

5月22日

蘭越町議会全員協議会

総務文教常任委員会所管事務調査

6月10日

経済建設常任委員会

蘭越町議会運営委員会

6月17日

蘭越町議会第2回定例会

6月25日(俱知安町)

羊蹄山ろく消防組合議会第1回臨時会(永井議員、金安議員)

7月15日

例月出納検査(監査委員)

7月22日(俱知安町)

羊蹄山ろく消防組合議会第2回臨時会(永井議員、金安議員)

7月27日

議会議員及び役場職員合同研修会

編集後記

「認識から発想が生まれる」

人間には元来「慣れ」という才能が備わっていると云われます。

時には喜びや悲しみを味わい、時に困難な出来事を受け止め、その繰り返し人の「慣れ」となるのです。

「慣れる」とはどついう意味を持つのでしょうか？

- ・ 順応する・馴染む・耐性がつく
- ・ 把握する・免疫や抵抗力がつく
- ・ こなせてくる 等々・・・

『認識』は「慣れ」へと繋がり、「慣れる」ことが『発想』へ導く。

新型コロナウイルス感染症に全世界が震撼し、未だ終息地の見えない中、社会と経済は少しずつ廻り始めました。この新種の病気が初感し既に半年が経ち、当にいま「艱難辛苦」認識と発想の渦中で我々は生きています。

今が本当に踏ん張りどころです。安心・安全なまちづくりを、町民の皆さんと一体となって邁進いたしましょう。

隠忍自重の織柄、どうぞ御自愛專一に願います。

議会だより編集委員 金安英照